

— 【温州みかん】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。 —

収 穫 丁寧な収穫作業と貯蔵の管理を徹底しましょう。

貯蔵みかんの品質のバラつきをなくすため、果実の着色状況に応じて、2回以上に分けて収穫しましょう。
収穫適期を逃して、浮皮果にならないように注意して下さい。

※収穫の目安 ○大津四号 ⇒ 完全着色 ○青島温州 ⇒ 8分色以上

果実管理

通常予措：コンテナ 8 分目ほどに軽く入れて、通気の良い貯蔵庫下屋等で10～15 日間乾燥した空気にさらします。総量の5%程度の減量(しおれ)が目安です。(果皮がややしなびて弾力を持つ程度)

高温予措：着色促進と減酸を目的に、収穫直後に20℃で7日間果実を保温しておく。果実の傷からくる腐れが早いので、再度選果をしてから貯蔵・出荷をしましょう。

貯 蔵 予措終了後、温度3～5℃・相対湿度85%を目安に貯蔵します。朝夕の換気と定期的に点検敗果を取り除きましょう。また、0℃付近になると低温障害をおこすので、寒波時は貯蔵庫を密閉しましょう。

病害虫防除等 収穫後の12月下旬～1月中旬(厳寒期の散布は避けましょう)

○ミカンハダニ アタックオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ 又は

○ヤノネカイガラムシ ハーベストオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ

* 散布量は10aあたり500～600ℓを目安に、たっぷり散布しましょう。
(病害虫多発生の主な原因は、密植と薬剤のかけムラです。)

— 【中晩柑】 —

防寒・鳥害対策のため、袋かけやネット被覆を実施しましょう。園地や品種により差がありますが、1月中旬までには終了するように作業しましょう。

— 【キウイフルーツ】 —

整枝剪定 12月下旬～2月上旬(樹液の流動が始まる前に終了しましょう。)

—文字整枝を基本に亜主枝は2～3m間隔で配置します。高樹齢樹は樹がいたむため亜主枝の更新は避けましょう。古い亜主枝でも葉数を確保し維持しましょう。

古い側枝(結果母枝)は先追いしないよう、亜主枝、主枝に近づける、切り戻し更新を行いましょう。

結果母枝は、充実した新梢と本年の結果枝を併用し配置します。春の風害を想定し、やや多めに残しましょう。大きい切り口にはトップジンMペーストを塗布しましょう。

病害虫防除 11月下旬～12月中旬○かいよう病 I Cボルドー-66D 50倍 2kg / 水100ℓ

土壌管理 11月～2月 土壌改良剤として、苦土石灰の施用をしましょう。 100kg～200kg/ 10a

— 【お 茶】 —

老朽茶園の改植準備

生産性の向上と良質茶の生産をはかるため、老朽茶園を改植することが必要です。

改植は抜根、天地返し、地ならしを計画的に行いましょう。その場合、石灰窒素をあらかじめ10aあたり80kg程度散布し、有機物の腐植化をはかりましょう。

— 【う め】 —

冬季剪定 11月～12月 縮間伐と骨格作りを重視して主枝を配置し、内向枝・平行枝等の切除をします。

※ツボミを傷めないように、年内にノコギリ剪定(太い枝の処理)を終了させましょう。

1月下旬までに細部の剪定作業(整枝・剪定)を終えましょう。1年枝は全部取らず横から出ている弱い枝は残しておきましょう。

病害虫防除 12月下旬～1月上旬(開花前)

○カイガラムシ類・越冬病害虫 石灰硫黄合剤 7倍 14.2ℓ/水100ℓ

12月～1月上旬 休眠期(落葉後～萌芽前)

○コスカシバ ガットキラ-乳剤 100倍 休眠期(落葉後～萌芽前) 2回 1ℓ/水100ℓ

【水 稲】

土づくり

水稲が健全に生育するために、「堆肥・ワラ等」の有機物やケイカル等の土壌改良剤を計画的に施し、地力を増進する必要があります。

○有機物の施用

ワラの場合 収穫後年内までに全体に広げ、深耕（15センチ以上）しておきましょう。

完熟堆肥の場合 10月から2月に全体に施し深耕しておきましょう。（500～1,000kg/10a）

○土壌改良剤の施用 ケイカル 100kg/10a 又は ようりん等

雑草防除 冬季にできる水田の雑草防除

冬季に耕耘することにより除草効果を期待することができます。多年生雑草の塊茎や根茎は低温や乾燥に弱いので、冬季の耕耘が防除に有効です。特にミズガヤツリ・クログワイ・オモダカなどの多い水田では反転耕により凍結枯死させられるので除草効果が高くなります。耕耘作業は年内までに一度は必ず行いましょう。

【お願い】農薬は適正に使用しましょう！！

県内農産物において、農薬残留基準値超過事案が発生しています。（当 JA 管内ではありません。）定められた使用基準を守らない場合は「農薬取締法違反」となりますので、ラベルをよく確認し使用方法を守り生産履歴の記帳に努め安心安全な農産物の生産をお願いいたします。

～農薬事故はこうして起こる！発生事例～

○収去した作物から適用のない農薬を検出（残留基準値超過）

→当該の作物には直接散布していないが、前日に他の作物に使用した散布器を洗浄不足のまま使用した。（ホースは洗浄するが、タンクを洗う習慣がなかった。）

→当該の作物には直接散布していないが、隣接する他の作物に散布した農薬が飛散（ドリフト）した。

上記のようなことが原因となり農薬事故が起こります。農薬の登録を守って使用することはもちろん、散布器具の洗浄は念入りに、ドリフトには十分注意しましょう。同じ畑で複数の作物を栽培している場合や、圃場同士の距離が近い場合などはさらにドリフトの注意が必要です。

【お知らせ】農薬登録の変更について

①ロブルール剤の登録変更

【対象品目】

ロブルール水和剤・ロブルール 500 アクア・ロブルールくん煙剤、ロブドロー水和剤

令和4年12月より登録変更となります。これ以降は旧品がなくなり次第新ラベル品で供給されます。流通在庫については「ラベル主義」となりますので、ラベルの表示に従ってご使用ください。登録変更により、「ロブルール水和剤」は「かんきつ」での使用不可となります。他にも削除された品目がありますので、新ラベル品を購入された際は、表示をよく確認しご使用ください。

②ベルコートフロアブルおよび水和剤の登録変更

ベルコートフロアブル：「だいず」の削除

ベルコート水和剤：「だいず」「てんさい」「小麦」の削除

令和4年10月26日より変更。流通在庫については「ラベル主義」となりますので、ラベルの表示に従ってご使用ください。新ラベル品を購入された際は、表示をよく確認しご使用ください。

～年末年始山北支店経済窓口営業時間変更のお知らせ～

12月30日（金）経済窓口は13時に閉店致します。

令和5年1月4日（水）より通常営業となります。

ご迷惑をお掛け致しますが、何卒よろしくごお願い申し上げます。

※金融共済窓口は、通常営業の9時～15時となります。